

エッセイの編纂に依れば軍事歴史編纂の任は一に參謀事務長附屬官史の手中に埋沒せしめらるゝものなり是れ誠に謙退の位置に居るものなりと爲さるべからず即ち土間の後席に屏座するものなりとすべし之が職責を有する屬史は軍事教育、軍事編成、軍隊の戰術教案等に關する一切の著作物を出版するの任に當り且つ中央本部及び各地方に存する軍用文庫保管の任に當らるべからず是れ焉ぞ我等の夢想する帝國參謀本部の歴史兼たるを得んや寧ろ他に其主となる任務を有する末流軍人の末流附屬事務たるに過ぎざるなり

歴史研究の必要

てより以て戦争の時代は即ち終止せり此智識
は海峽(英吉利)に至りて止まりワイチチエラ河
(ボーランド)より獨逸の西部地方を縦貫する
もの)に至りて止まる之の止まると同時に平
和の天使また之が境を越えて進まざるなり英
露兩國の外各大國に於ては政治家、海軍々人
陸軍々人みな自國及び其隣邦の軍部歴史に通
じ其國民徒に事を武器に訴へたるに依りて爲
めに受けたる苦痛は異に之を其心に銘せざる
ものなし露國は勿論依然として尙ほ露國たる
ものにして英國に至りては世界諸舊國の何れ
もよりも更に大にして更に變化あり更に壯烈
に於て更に必勝なりし其戦争の記録すべきも
のを有しながら露國と等しく其歩また鈍くフ
ォーテスキャロー氏の英國陸軍に關する其不朽
の將を出だせるに至るまでは何人も皆我邦の
戦争の其最も大なるものに關して其最も普通
なる記録を探らんとするに尙ほ朽爛したる書
庫の隅を索め又古本屋を獵らざるべからざり
し海上帝國の近世的要求に應ずるの目的に從
ひ近世的思想を以て論述されたる近世的歴史
を得んとするには人は必ずジョーン オーゲ
ロートの住みよりランヅ エントに至るまで
縱く此國を搜索せざるべからずして而も結局

都は宜しく近時第一回の大海戰たる今、艦東に進行中なる戰争を以て先づ其手初めど爲すべきなり。當に設立され適當に組織されたる歴史部の緊要なるを感ずるもの。曾に我陸軍のみにはあらず又曾に我海軍のみにはあらず又曾に我公人のみにも非ざるなり。地球上に普く散布する我陸軍及び艦隊の専門的文庫は實に我邦に取りて云ふべからざる不名譽の狀態にあり而も英國最大諸戰争の長くして且つ波瀾ある記録を以て特に動かさんとを要するものは即ち寧ろ海外にある皇帝の領土なりとすべし。此等少壯新進の社會は漸くにして丁年の域に達せんとす。此等の間に其母國市民との關係に於て苟りにも外國人または異境人の名を加へ得べきものありとせば之を加へしむるに至りたるもの其實一に母國にありとせざるべからず我等は曾て此等離民地に對し彼等の其存在を保てる所以及び外國領土より其安寧を持せる所以は畢竟その天運に懸り英國海軍の見るべからざる所及び其必要にして且つ自然の

(九月十三日軍機處密摺)

獨逸と日露戦争にて

